

# 十和小学校 学校教育目標及び重点目標

## (1) 学校教育目標

### 「心豊かで、たくましく、自ら学ぶ児童の育成」

## (2) 本年度の重点目標と指導の方策

### ア「確かな学力」の形成

#### (ア)「学び」が楽しめる授業の創造(学習意欲)

◇学習への意欲や興味・関心を高め、学ぶ態度を育てる指導と評価を工夫する。

◇子どものよさや可能性が生きるように学習活動への支援や評価を工夫する。

◇子どもの実態(到達度)や能力に応じた習熟や発展のあり方を工夫する。

#### (イ)基礎的・基本的な学力と学習技能・学び方の確実な指導(基礎基本の習得)

◇「聞く・話す・書く・関わる」等の学習規律の定着を図る。

◇「読み、書き、計算」やノート指導等を含めて、基礎的・基本的な学力(知識・技能)と学習技能(読む・書く・話す・聞く・話し合う等)・学び方を育てる指導を大切にする。〈家庭学習の充実〉

◇厳しい環境にある子どもたちへの配慮ある学習支援に努めると共に、生徒指導の三機能(自己決定・自己存在感・共感的な人間関係)を生かした授業、特別支援教育の視点(ユニバーサルデザイン)をもった授業を研究し、どの子も楽しくわかり・できる授業づくりを追求する。

#### (ウ)「思考力・判断力・表現力」の育成を重視した探究型授業の創造

◇学習指導要領の趣旨や内容の研究と教科等の教材研究を積み、授業力向上に努め、言語活動の充実と思考力・判断力・表現力を育成する授業に改善すると共に、探究型授業づくりを実践する。

◇ICTの活用、指導方法等の工夫改善、課題発見・自力解決・協働解決・表現の場の設定を工夫し、他教科等との関連を重視して、総合的に学習活動を展開する。

◇成果を実感させるように、計画的・系統的・継続的な学習指導と評価に努める。

#### (エ)特別支援教育の充実(ユニバーサルデザインの視点)

◇一人一人の特性や能力に応じた教育内容、指導方法の工夫と改善に努める。

◇校内における指導体制を確立し、指導・支援の充実と共感的理解を深める。

◇児童及び家庭(保護者)や地域の特別支援教育への理解を促す。

### イ「豊かな心」の育成

#### (ア)道徳教育の充実

◇道徳科の授業を充実し、道徳的諸価値についての理解を基に、自己の生き方についての考えを深める学習を通して、道徳的な判断力、心情、実践意欲と態度を育てる。

◇体験活動を生かして、内面に根ざした道徳性を育成する。

◇指導の重点化を図り、家庭・地域とも連携して、道徳的実践の指導の充実に努める。

(イ) 読書指導と学校図書館の利用指導の充実

◇学校図書館の利用指導と読書環境の充実に図り、本に親しむ態度と読書習慣及び調べ学習等課題解決的・探究的学習に図書館を活用する能力や態度を育てる指導に努める。

(ウ) 人権教育の充実

◇子どもの自尊感情や自己肯定感(セルフエスティーム)を大切に育む。

◇人権(人間)を大切に作る人間性豊かな子どもの育成を目指す。

◇豊かな体験の機会の充実に努め、人権課題についての理解を深める。

◇いじめや差別を許さない強い心を養い、正義感あふれる公正公平な集団を育てる。

(エ) 豊かな情操の育成

◇人や自然とのふれあいを大切にし、体験を通して豊かな感性を養う。

◇ふるさとや家族を誇りに思い、大切に作る心情を培う。

◇音楽・図工教育、読書活動を中心に心の柔軟さを培い、表現力・創造力を伸長する。

(オ) 生徒指導の充実

◇日常生活における他者との関わりの中で、課題を見出し、どのような選択が適切であるかを判断し、実行し、その言動に責任を持つことのできる自己指導能力を育成する。

ウ「健康でたくましい体」の育成

(ア) 健康・安全教育

◇健康教育・安全教育の指導を徹底し、健康・安全に対する意識と態度の高揚を図る。

◇望ましい生活習慣の確立、食を通じた教育の充実に努める。

◇SNS等との上手な付き合い方についての理解学習を進める。

(イ) 体力・運動能力づくり

◇体育授業や日常的な体育活動(外遊びを含む)、体育的行事等を通して、バランスのとれた体力・運動能力の向上を図る。